

事業実績書

令和6年3月29日

団体名 ことばの泉・ねじ文庫

<p>事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）</p>	<p>本を通して、あやべのまちの活性化。 本をテーマにした単行本や絵本を展示し、本の魅力を訴求する。市民参加型の「あやべ あんな人こんな本！」というコーナーも設け、あやべのいろいろな方にお薦めの本を紹介してもらい、それを一堂に集め展示。また、紹介された本にまつわる内容等を冊子にして各所にて配布。どんな人がどんな本を読んでいるか新たな発見があると同時に、あやべの企業やお店の紹介などにもなる。本事業を通じてもともと住んでいる方、UターンやIターン者との交流の場にもなる。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>「ほんとのおつきあい展」展示会</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>439,639円 (200,000円)</p>
<p>補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）</p>	<p>冊子用デザイン費、印刷費 イベント告知用のチラシ（フライヤー） 展示用解説パネルやコピー代 等</p>
<p>事業実施期日</p>	<p>2024年3月9日～2024年3月16日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>綾部市若松町24-5</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『ほんとのおつきあい』展は、本をテーマにした絵本や書籍を紹介する展示イベントであり、本との出会いを提供する場であるが、綾部のまちなかで開催されるものなので、より「あやべ感」を出すために「あやべ あんな人こんな本！」と題したコーナーも設けて実施。山崎善也市長をはじめ、あやべにゆかりのある方65人のお薦めの本を実際に展示すると同時に、その本にまつわる感想やエピソード等を冊子にまとめ、これを無料配布した。 尚、「お薦め本」については主催者が依頼した方以外にも、FMいかるやあやべ市民新聞などの協力のもと広く一般募集をかけて、あやべのまちでおもしろいことが展開されていることを市内外に訴求した。展示会への来場者は8日間で延べ116人だが、小冊子は700部作成し綾部市図書館や観光案内所、特産館ほか市内飲食店などにも置いていただき、各所でそれがなくなるなど、人気を博している。</p>
<p>補助金の効果(成果)</p>	<p>来場者は乳幼児から84歳までさまざま。広くないスペースだけに、来場者同士が初対面にもかかわらず打ち解けやすい状況となり、新しい出会いの場・交流の場の創出となった。〈地域の人が本をお薦めし、それを冊子にするという試み〉は他所ではない「初」の試みであり、本を通じた地域おこしという事例として専門家やメディア等へも報告し高い評価を得ている。4月からは今回の小冊子データをもとにあやべ市民新聞での連載も決定、展示会そのものは8日間限定であったが、さまざまな波及が生まれ、これからも生まれていく。</p>

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和6年3月29日

団体名 ことばの泉・ねじ文庫

(単位 円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	200,000	200,000	
	自己資金	200,000	239,639	
	合計	400,000	439,639	
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	チラシ・ポスター印刷	30,000	19,460	チラシ印刷代 3,390円 ポスター印刷代 16,070円
	展示用解説パネル作成費	50,000	13,399	コピー代 12,030円 文具等 1,369円
	冊子用デザイン費、印刷代	300,000	398,680	冊子デザインDTP制作 176,000円 冊子印刷代 222,680円
	需用費	20,000	8,100	郵送料
合計	400,000	439,639		
差引	0	0		